

2019.03.29 Fri
ReOPEN



東京都現代美術館は、諸設備の改修と利便性の向上を図るためおよそ3年にわたる休館を経て、より開かれた美術館を目指し2019年3月29日にリニューアル・オープンを迎えることとなりました。

当館ではリニューアル・オープンを記念して、企画展示室とコレクション展示室において2つの展覧会を企画し、美術館全館で当館コレクションを大規模にご紹介します。リニューアル・オープン初日の3月29日は入場無料とし、20時まで開館時間を延長します。会期中には、リニューアル・オープン記念イベントも開催します。

今回の改修では経年劣化に伴う設備機器の更新をはじめ、美術館を隅々まで楽しんで頂くための新たなサインの設置や、木場公園側のアプローチを軸としたパブリックスペースの整備、美術図書室の改装などを行いました。また、レストラン、カフェ&ラウンジには新店舗がオープンし、ミュージアムショップが再オープンします。

これからも多くの皆様をお迎えするとともに、常に動き続けるコンテンポラリー・アートを直に感じることできる美術館を目指し、発信してまいります。

今後の東京都現代美術館の活動に、どうぞご期待ください。



「リニューアル・オープン記念展」開催

TokyoTokyo
FESTIVAL

リニューアル・オープンを記念して、企画展示室とコレクション展示室において2つの展覧会を企画し、美術館全館で当館コレクションを大規模にご紹介します。

詳細は別紙1

[企画展]	百年の編み手たち - 流動する日本の近現代美術 - Weavers of Worlds - A Century of Flux in Japanese Modern / Contemporary Art -
会期	2019年3月29日(金) - 6月16日(日)
観覧料	一般 1,300円(1,040円) / 大学生・専門学校生・65歳以上 900円(720円) / 中高生 600円(480円) / 小学生以下無料 *()内は20名様以上の団体料金 *3月29日(金)は入場無料 *企画展のチケットでコレクション展もご覧いただけます
休館日	月曜日(ただし4月29日、5月6日は開館)、5月7日(火)
開館時間	10:00 - 18:00 (3月29日(金)は20:00まで夜間開館) *展示室入場は閉館の30分前まで
会場	東京都現代美術館 企画展示室 3F、1F、地下2F
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

詳細は別紙2

[コレクション展]	MOTコレクション ただいま / はじめまして MOT Collection: Pleased to meet you. New Acquisitions in recent years
会期	2019年3月29日(金) - 6月16日(日)
観覧料	一般 500円(400円) / 大学生・専門学校生 400円(320円) / 高校生・65歳以上 250円(200円) / 中学生以下無料 *()内は20名様以上の団体料金 *3月29日(金)は入場無料
休館日	月曜日(ただし4月29日、5月6日は開館)、5月7日(火)
開館時間	10:00 - 18:00 (3月29日(金)は20:00まで夜間開館) *展示室入場は閉館の30分前まで
会場	東京都現代美術館 コレクション展示室 1F、3F
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館



リニューアル・オープン記念イベント

3月29日(金)は入場無料 & 夜間開館

記念すべきリニューアル・オープン初日の3月29日(金)は、入場無料とし、20時まで開館時間を延長します。

和太鼓の生演奏

当館立地地域で30年間活動する「^{もとかが}元加賀小学校和太鼓クラブ」による、迎え太鼓および元加賀太鼓の生演奏を3月29日(金)10時から当館エントランスホールにて行います。(演奏時間10分程度)

館内スタンプラリーを開催

新しく改修された当館のいくつかのエリアを回遊していただくスタンプラリー。リニューアル・オープン記念展の会期中にすべてのスタンプを集めると、当館オリジナルステッカー(数量限定)をプレゼント。

※ 詳細および最新情報は随時、当館ウェブサイト(www.mot-art-museum.jp)でお知らせします。



主なリニューアル施設

美術図書室

美術図書室は、什器のデザインやレイアウトを一新し、新たな空間としてリニューアルしました。映像資料が閲覧できる「メディアブース」のほか、お子様も楽しめる美術書を集めたコーナーを拡充した「こどもとしょじつ」も新設しました。

開室時間：10:00 - 18:00

※ 3月29日(金)は20:00まで開室

閉室日：美術館休館日



ミュージアムショップ「NADiff contemporary」 (ナディッフ コンテンポラリー)

現代アート関連書籍をはじめ、多様なアーティスト、クリエイターによるユニークなプロダクトを取り揃えます。現代アートのスピリットを持ち帰ることができる「ここでしか出会えないモノ・コト」を、発見、体験するミュージアムショップです。展覧会図録やMOTオリジナルグッズ他、期間限定でリニューアル・オープン記念トートバッグも販売します。

営業時間：10:00 - 18:00

※ 3月29日(金)は20:00まで営業

定休日：美術館休館日



リニューアル・オープン記念
トートバッグ

レストラン「100本のスプーン」

ご家族でも楽しめるレストランです。誰もがよく知るメニューを今まで食べたことのない味わいでご提供します。また、お食事をとりながら、アートに触れたり、お客様が作品を描いたり、自分自身が作品になってみたり。コドモからオトナまで美術館での新しい楽しみ方が待っています。

営業時間：11:00 - 18:00 (ラストオーダー 17:00)

※ 3月29日(金)は20:00まで営業 (ラストオーダー 19:00)

定休日：美術館休館日

<https://100spoons.com/mot>



カフェ＆ラウンジ「二階のサンドイッチ」

コーヒーを片手に、ひとり、作品の余韻に浸るのもいい。サンドイッチをつまみながら、ふたりで、企画の意図を解釈するのもいい。デザートシェアしながら、みんなで、体験や印象を交換するのもよい。定番と日替わりのサンドイッチやオリジナルのドリンクを店内でもテイクアウトでもお楽しみ頂けます。

営業時間：10:00 - 18:00 (ラストオーダー 17:30)

※ 3月29日(金)は20:00まで営業 (ラストオーダー 19:30)

定休日：美術館休館日

<http://www.smiles.co.jp/upstairs>



+ リニューアル・オープン記念ロゴ



美術館の活動にさらなる「+」(プラス)を、そして皆様により親しみをもっといただける美術館として邁進する思いを込めて、開館当時より使用している当館のロゴのデザイナーである仲條正義氏に、1年間限定で使用するリニューアル・オープン記念ロゴをデザインしていただきました。

当館のロゴはミュージアムという言葉の頭文字である M を強調し、略称 MOT (モット) という言葉からイメージされる積極性や上昇性(「もっともっと・・・」)を、T の文字を「+」(プラス)にすることで表しています。さらに T は「東京」の頭文字にも由来しています。



+ リニューアルの概要

経年劣化への対応・機能の改善

空調をはじめとする各設備機器の更新、館内の床・壁・天井の全面的な内装の更新とともに、天井の耐震化を行いました。また、照明の LED 化などによる環境負荷低減を実施しました。

利用者サービスの向上

展示室内のエレベーター増設、多目的トイレの拡充といったバリアフリーの向上、子育て支援設備の充実、館内外を巡ることができる回遊動線の再整備などを行いました。

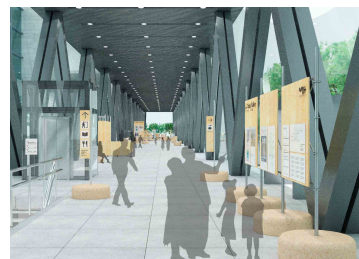
館内外のサインを一新

目の前に広がる木場公園。その続きのように普段使いをしてもらえる美術館をコンセプトにパブリックスペースを整備しました。各施設やカフェ&ラウンジ、美術図書室などを隅々まで楽しんでいただけるよう、サインと一体的にデザインされた什器を設置し、まちに開かれた美術館を目指します。

サイン什器設計：建築家 長坂常 (スキーマ建築計画)

サイン計画：アートディレクター 色部義昭

(株式会社日本デザインセンター 色部デザイン研究所)

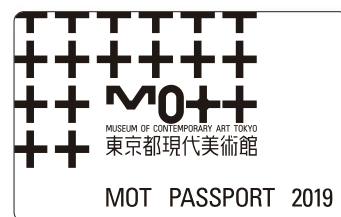


+ 年間パスポートが新登場！

2019 年度開催の展覧会をお得にご観覧いただける年間パスポートを発売します。

主な特典(予定)：企画展 4 回まで無料 / コレクション展 無料

※ その他お得な特典等、詳細は当館ウェブサイトですぐお知らせします。



※ 詳細および最新情報は随時、当館ウェブサイト (www.mot-art-museum.jp) でお知らせします。

広報用素材として、美術館写真、ロゴ、リニューアル・オープン記念展の図版をご用意しております。ご希望の際は広報までお問い合わせください。

お問い合わせ 東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 中島・工藤
TEL. 03-5245-1134 (直通) / FAX. 03-5245-1141
E-MAIL . mot-pr@mot-art.jp



リニューアル・オープン記念展 企画展

百年の編み手たち - 流動する日本の近現代美術 -

Weavers of Worlds - A Century of Flux in Japanese Modern / Contemporary Art -

開催概要

本展は、1910年代から現在までの百年にわたる日本の美術について、編集的な視点で新旧の表現を捉えて独自の創作を展開した編み手である作家たちの実践として、当館のコレクションを核に再考するものです。

岸田劉生が活躍した大正時代から現在まで、それぞれの時代の「編み手たち」は、その時々課題と向き合い、「日本の美術のありよう」をめぐる批評的に制作してきました。本展で試みる日本の近現代美術をめぐる語りは、揺るがぬ史観に基づくものというより、さまざまな要素の選択的な「編集」を通して主体を揺るがせつつ制作を行う作家たちの活動に着目し、その背景を探っていくものです。さらに、時代とともに変化してきた、当館が位置する木場という地域をめぐる創造も紹介します。

日本の近現代美術史のなかに点在する重要な作品群を、当館の3フロアの展示室全体を使って総覧することで、百年にわたる歴史の一側面があきらかになるでしょう。

みどころ

- 企画展示室3フロア全てを使って、1910年代から現在までの、当館の実験精神あふれる作品の数々を、現在の創造に繋がる視点で紹介する、初めての機会です。
- 日本の近現代の創造を、新旧の多様な表現や技術を編集し、そして社会と創造的な関係を切り結んできた「編み手たち」による試みという側面から再考します。それらからは、ハイブリッドな文化をもつ日本における創造のありようそのものを主題とする、先駆的な制作のあり方が見えてくるでしょう。
- 同時代美術の多様なあり方と伴走してきた当館のコレクションの中から、選りすぐりの作品だけでなく、図書室の創作版画誌や特別文庫など戦前からの貴重な資料を紹介します。

出品作家（予定）

齋嘯、会田誠、齋光、秋山祐徳太子、朝倉摂、阿部展也、有島生馬、池田龍雄、石井柏亭、石田尚志、泉太郎、磯辺行久、伊藤存、梅津庸一、梅原龍三郎、漆原英子、瑛九、大岩オスカール、大竹伸朗、大野倣嵩、岡崎乾二郎、岡本太郎、小倉遊亀、オノ・ヨーコ、オノサトシノブ、恩地孝四郎、風間サチコ、桂ゆき、加藤泉、加藤太郎、金山明、金氏徹平、鹿子木孟郎、河原温、神原泰、岸田劉生、北川民次、北代省三、木村莊八、国吉康雄、小泉明郎、河野通勢、駒井哲郎、齋藤義重、齋藤与里、篠原有司男、清水登之、白髪一雄、末永史尚、菅木志雄、杉全直、住谷磐根、清宮彬、多田美波、田中敦子、田中功起、田中千鶴子、千葉正也、椿貞雄、鶴岡政男、手塚愛子、寺田政明、東郷青児、堂本尚郎、富井大裕、豊嶋康子、中澤弘光、中西夏之、中野淳、中原實、中村宏、名和晃平、野田哲也、浜田知明、深沢索一、福沢一郎、福島秀子、藤牧義夫、ホンマタカシ、前田藤四郎、牧野虎雄、松江泰治、松本竣介、三木富雄、三島喜美代、南川史門、宮脇愛子、村井正誠、村山知義、毛利悠子、元永定正、森千裕、森村泰昌、八木良太、柳瀬正夢、ヤノベケンジ、矢部友衛、山口勝弘、指差し作業員、横尾忠則、横堀角次郎、吉田博、吉原治良、Chim↑Pom、O JUN ほか

リニューアル・オープン記念展 コレクション展

MOTコレクション ただいま / はじめまして

MOT Collection: Pleased to meet you. New Acquisitions in recent years

開催概要

東京都現代美術館では、現在、約 5200 点の作品を収蔵しています。その範囲は、戦後美術を中心に、近代から現代に至る幅広いジャンルに及んでいます。こうした収蔵作品を紹介する「MOT コレクション」展では、会期ごとに様々な切口を設け、同じ作品であっても常に新たな視点から鑑賞できるよう工夫しており、現代美術の持つ多様な魅力の発信に努めています。

当館では、この 3 年弱に及ぶ休館中に、約 300 点の作品が新たに収蔵されました。そこで、リニューアル・オープンを記念した今年度のコレクション展では、新収蔵作品を中心に紹介します。その第一弾では、主に 2010 年代に制作された作品群に焦点を当てながら、修復後の作品のお披露目なども加え、これまで「MOT コレクション」をご覧いただいた方も、今回初めてご覧になる方も、リニューアルした展示室で作品それぞれの魅力に触れていただければ幸いです。

みどころ

- **たくさんの「はじめまして」** 同時代の美術を専門領域とする当館では、継続的かつリアルタイムな収集が美術館を支える基盤といえます。今回は、休館中に新たにコレクションに加わった作品の中から、主に 2010 年代に制作された作品を、およそ 20 作家によるゆるやかな個展形式でご紹介します。さまざまな世代や地域でこの 10 年間に生まれたフレッシュな作品との出会いをお楽しみください。
- **「ただいま」の場も作品も** 今回は、修復を終えた宮島達男の代表作とともに、ロイ・リキテンスタイン《ヘア・リボンの少女》や ~~モナ・ハトゥーム《Web》~~[※] など、これまで親しまれてきた作品も展示します。当館ならではの開放的な空間で、新しい作品とともに懐かしい作品もお待ちしています。来館者の方々それぞれのペースでゆったりとご鑑賞ください。
- **「ただいまとはじめまして」の屋外彫刻に注目** アンソニー・カロ、リチャード・ディーコンなどの屋外彫刻作品が修復を経て戻ってきました。これらに、オノ・ヨーコ《クラウド・ピース》が加わります。新たに整備された部分を含む建物の周囲をめぐるスペースを回遊し、屋外のコレクションもご堪能ください。

出品作家（予定）

今井俊介、荻野僚介、奥村雄樹、オノ・ヨーコ、~~小林正人~~[※]、さかざしよしお、末永史尚、関根直子、五月女哲平、高田安規子・政子、棚田康司、手塚愛子、寺内曜子、中園孔二、Nadegata Instant Party（中崎透+山城大督+野田智子）、文谷有佳里、南川史門、宮島達男、アンソニー・カロ、リチャード・ディーコン、サイモン・フジワラ、~~モナ・ハトゥーム~~[※]、サレ・フセイン、ロイ・リキテンスタイン、マーク・マンダース、マルタ・パン、ソピアップ・ピッチ、アルナルド・ボモドーロ ほか

※出品を予定していた、モナ・ハトゥーム《Web》は、アルナルド・ボモドーロ《太陽のジャイロスコープ》に変更となりました。

また、当初予定していた小林正人の作品は、企画展「百年の編み手たちー流動する日本の近現代美術ー」の会場でご覧いただけます。（2019.3.1）

関連イベント

[MOT コレクションをガイドスタッフとめぐるツアー]

ガイドスタッフが、MOT コレクションの作品解説を行います。ガイドスタッフと一緒に楽しく作品を鑑賞してみませんか？

日時：4月6日（土）より毎日14時～（所要時間は1時間程度）

集合場所：コレクション展示室入口

* 企画展またはコレクション展のチケットをお求めの上、ご参加ください。途中からの参加も可能です。